キーパーソン同士が本気でキャッチボールし合える関係を創る
探索と共創のプラットフォーム

# 「企業×地域共創ラボ」
# ご案内資料

2022.3

ローカルベンチャー
協議会
LOCAL VENTURE COUNCIL

And Beyond Company

# 目次


・P3～4　NPO法人ETIC.について
・P5～13　企業×地域共創ラボの概要・強み
・P14～24　企業×地域共創ラボのこれまでと具体的な提供機会
・P25　岡山県西粟倉村FWのご案内
・P26～27　第2期メンバー募集


© 2021 NPO ETIC.

# 企業×地域共創ラボとは？

# NPO法人ETIC.について

・団体名称　:特定非営利活動法人ETIC .(エティック)

・設立　　:1993年　(法人化2000年3月)

・スタッフ数:　137名(専従47名、＊2021年5月現在)

・所在地　　:東京都渋谷区恵比寿

## 社会課題への取り組み

1997～　次世代リーダー育成 4500名以上

2002～　社会起業家支援 1600名以上

2005～　地域の行政・NPOと連携したローカルベンチャー支援、全国60地域と連携・協働

2011～　企業の社会価値創造支援　(CSR/CSVコンサルティング等)

2016～　岡山県西粟倉村と全国自治体に呼びかけ、ローカルベンチャー協議会を発足

5年間で～売上増約57.7億円、新規起業・事業創出274件、

起業型・経営型人材の地方へのマッチング400人を達成

2021～　「企業×地域共創ラボ」トライアルスタート！

© 2021 NPO ETIC.

# 企業×地域共創ラボとは？

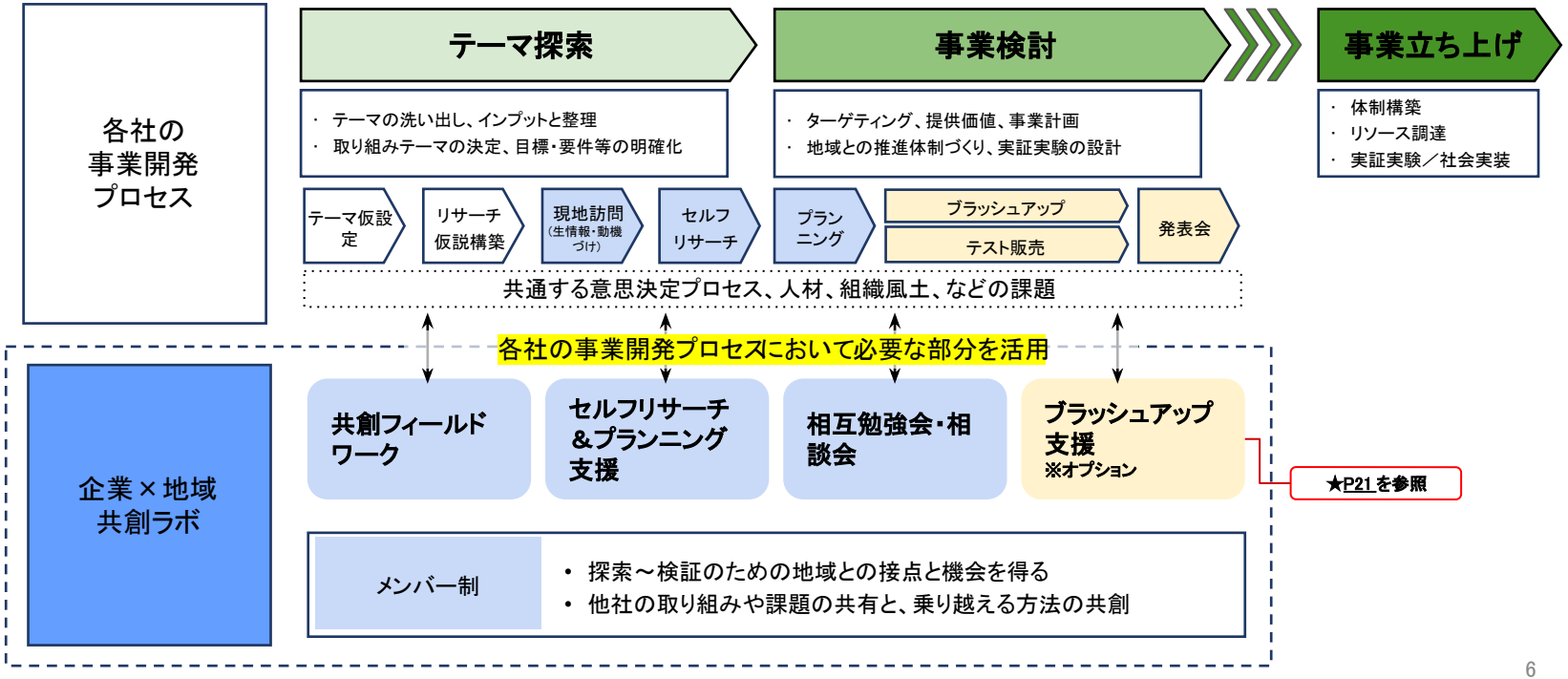
企業と地域のキーパーソン同士が本気でキャッチボールし合える関係を創る
”探索と共創”のためのプラットフォームです。

**本プラットフォームを通じて、ともに目指したいこと**

1. 様々な課題を抱える地域の事業者や中間支援団体が、地域課題の解決を目指す企業の新規事業開発担当者と安心・安全で気軽に **本音を話し合える関係性** をともに創ります。
2. 地域課題の解決に向けた、テーマ探索から仮説づくり、プロトタイプ開発、実証実験まで、その質や**本気度を高めあえる企業パートナーとの出会い** を目指します。
3. 一連の機会を通じて、地域にとってインパクトのある事業が生み出され、地域課題の解決やさらなる地域の発展が見込めます。

# 企業×地域共創ラボの概要

- 「企業×地域共創ラボ」では、各社の新規事業開発のプロセスにおいて、
  **①テーマ探索**、**②事業検討の本気度を高める地域パートナーとの出会い** の機会を提供します。
- 地域と企業同士で**課題への学びあいや共創の機会**を提供します。




© 2021 NPO ETIC.

# 企業×地域共創ラボでできること

**本気でキャッチボールしあえる企業キーパーソンとの接点**

課題

- 企業と関わる接点があまりない
- もっと気軽に企業の人を巻き込んでいきたい

**リアルな企業ニーズの把握・理解**

課題

- 企業を呼び込むためのニーズや呼び込み方がつかめない

**地域課題の解決に向けた共創のきっかけづくり**

課題

- 地域課題があるなかでどのような切り口であれば企業と連携できるか勘所がつかみづらい

・**フィールドワーク**を通じて地域と本気で協働したい企業人と対話を通じて課題感やニーズ、共創の糸口を探れる
・**毎月の勉強会**を通じて企業側がどんなことにアンテナを立てているのか、事業開発の糸口を探しているのか、リアルな声を聞くことができる
・**Slackコミュニティ**に参画することで自地域のFW企画やイベント呼び込みなどがライトに行える
・**他地域のフィールドワークに参加**することで共通の課題感を持つ地域とのナレッジシェアや新たな仲間づくりができる



© 2021 NPO ETIC.

# 企業×地域共創ラボの強み

# 土台となる2つのコミュニティ

ローカルベンチャー協議会
LOCAL VENTURE COUNCIL

- 岡山県西粟倉村とNPO法人ETIC.が呼びかけをし、2016年9月に発足。各地域の自治体が、民間の中間支援・コーディネート組織と協働推進体制を作ることを協議会参画の条件としてスタート。
- ローカルベンチャーの創造と推進に向けて「ともに学び、育て、広げる」ことを目的とした広域連携プラットフォーム。

**立場や組織の垣根を超えて繋がり、**
**イノベーションを起こすバーチャルカンパニー**

- and Beyond Companyは、「意志ある挑戦が溢れる社会を創る」をミッションに、立場や組織の垣根を超えて繋がり、一人ひとりの妄想を形にしていくことを目指すバーチャルカンパニーです。
- いま、様々な組織において、どうイノベーションを生むかが課題になっています。イノベーションを生み出すのは、突出したリーダーだけではありません。未来はいつだって、誰かの妄想から始まる。
- だからこそ、and Beyond Companyでは、未来を担う次世代のリーダーや社会起業家をはじめ、学生、企業、行政、NPO、どんな所属や立場の人でも、自由に発想し、垣根を越えて応援しあい、挑戦できる環境を提供しています。

# 土台となる2つのコミュニティ

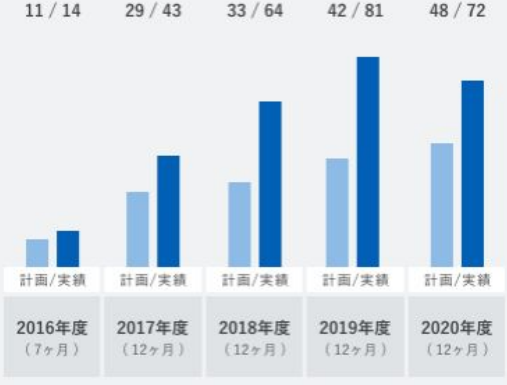
ローカルベンチャー協議会
LOCAL VENTURE COUNCIL

- 2016年～2020年の5年間で、
  - **274件の新事業創出**
  - **約57億円の売上増**
  - **400件の人材マッチング**　を実現。

## ローカルベンチャーによる売上規模（千円）

## 新規事業創出数

（新規創業数＋新規事業数）




## 起業型・経営型人材の地域へのマッチング数（人）

# 第1期参画企業：9社／15名

| 企業・部門<br>※略株 | 取組実績等 |
|---|---|
| ①竹中工務店 | 島根県雲南市とのソーシャルチャレンジバレー<br>埼玉県小川町での森林グランドサイクル推進　等 |
| ②日本郵政 | LVとの協働に向けた社員派遣（2022年4月より5地域に8名出向決定） |
| ③セイノーホールディングス | 山梨県小菅村等でのドローンやラストワンマイルに向けた物流の社会実装、熊本県での農福連携事業等 |
| ④双日 | |
| ⑤丹青社 | 石川県七尾市との食関連プロジェクトの協業 |
| ⑥ロート製薬 | 宮城県女川町での健康プロジェクト(その後NPO設立)他、食・女性等多様 |
| ⑦LIFULL | 企業版ふるさと納税を活用した福島県磐梯町との連携<br>全国各地でのLiving Anywhere Commonsの実施 |
| ⑧パーソルイノベーション | |
| ⑨イシン | |

© 2021 NPO ETIC.

# 地域とのパートナーシップについて

- 初年度はトライアルとして9社9地域程度で実施。
- ローカルベンチャー協議会参画地域を中心としながら、共創への環境の整った地域を巻き込んでいきます。

## パートナー地域の要件

☑ 都市部企業との共創に対するニーズ・問題意識を有していること
☑ 地域内にコーディネーターとなる組織・人材がいること
（担当地域コーディネーターを特定できること）
☑ 自治体や地域内の他団体との連携した企業の受入やコーディネートができること
☑ 地域内で新たな挑戦・起業・新規事業を応援する仕組みや文化があること

© 2021 NPO ETIC.

# パートナー候補地域

## 北海道厚真町
○人口：4,000人
○協業パートナー：エーゼロ厚真

## 岩手県釜石市
○人口：3.2万人
○協業パートナー：パソナ東北創生

## 石川県七尾市
○人口：5.1万人
○協業パートナー：能登 DMC合同会社

## 宮城県気仙沼市
○人口：6万人
○協業パートナー：まち大学構想事務局

## 島根県雲南市
○人口：3.7万人
○協業パートナー：企業チャレンジ事務局
NPO法人おっちラボ

## 宮城県石巻市
○人口：14.7万人
○協業パートナー：株式会社巻組
一般社団法人イシノマキファーム

## 岡山県西粟倉市
○人口：1,400人
○協業パートナー：エーゼロ、
西粟倉むらまるごと研究所

## 福島県磐梯町
○人口：3,500人
○協業パートナー：LIFULL（地域活性化起業人派遣）

## 熊本県南小国町
○人口：4,000人
○協業パートナー：SMO南小国

## 徳島県上勝町
○人口：1,400人
○協業パートナー：RDND

## 愛媛県久万高原町
○人口：9,000人
○協業パートナー：ゆりラボ

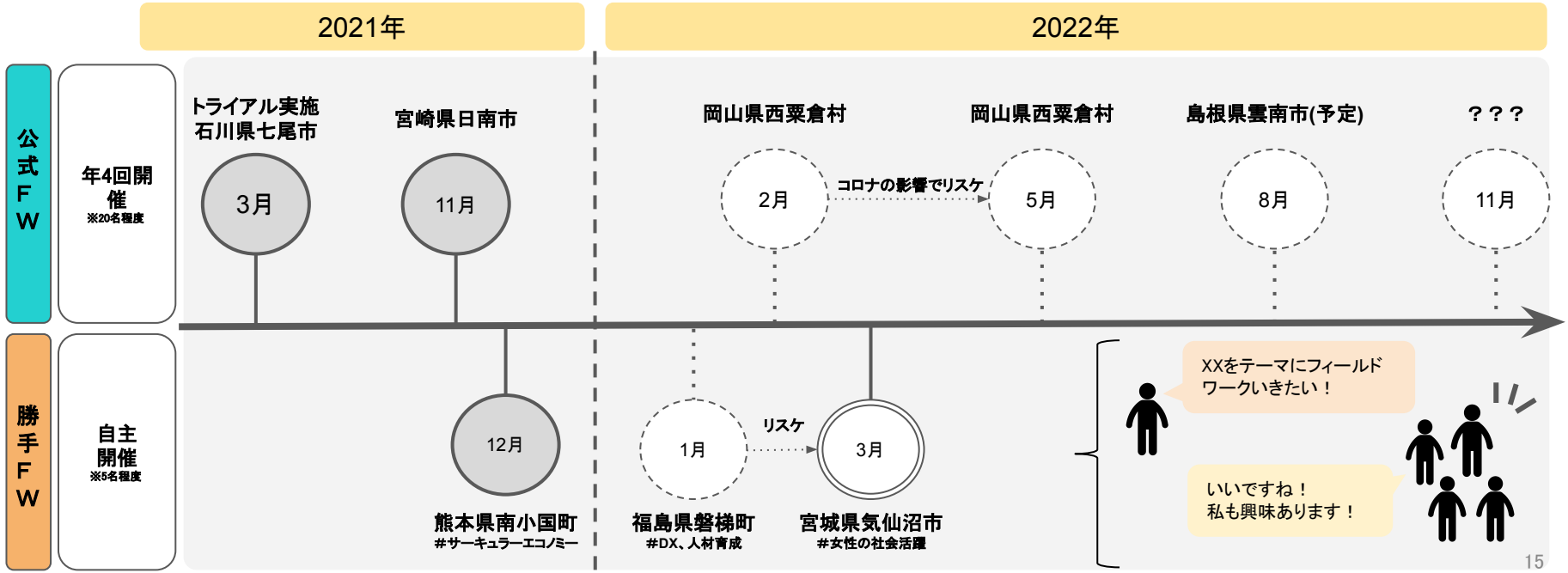
## 宮崎県日南市
○人口：5.1万人
○協業パートナー：ことろど

© 2021 NPO ETIC.

# 企業×地域共創ラボ
# これまでの取り組みと
# 具体的な提供機会

# ①共創フィールドワーク

- 公式プログラムとして、年4回(四半期に1回)の共創フィールドワークを開催します。
  地域課題起点での新規事業開発を考える企業担当者が合同で参加する機会になります。
- 共創フィールドワークを通じて、課題やテーマの探索とともに、地域コーディネーターや地域のキーパーソンと気軽にキャッチボールができる関係になることを狙いとします。






© 2021 NPO ETIC.

# 実施例①:石川県七尾市

- 2021年3月23日～25日に、8社13名の新規事業開発担当者が石川県七尾市に集い実施。
- 空き家問題、地域の健康課題、地域物流など関心テーマや事業仮説(課題設定・提供価値等)に応じた12テーマでのフィールドワークを開催しました。

トライアル共創フィールドワーク(2021.3.23-25)
・開催地域:石川県七尾市
・コーディネーター:能登DMC 代表社員 友田景氏
・参加企業:8社13名
・企業のニーズに応じた12テーマでの地域ゲストとの対話
① :一次産業の課題(牡蠣養殖、農業)
② :集落の持続化可能性(空き家問題や廃校活用)
③ :空き家バンク制度と空き家の仲介
④ :役所の支所業務と地域づくり
⑤ :集落の持続可能性(地域福祉や空き家問題)
⑥ :高齢者の健康
⑦ :移動難民問題とマイクロEV
⑧ :食文化と地域福祉
⑨ :観光のDXやサステナビリティ
⑩ :親子ワーケーションの受入対応
⑪ :集落問題(コミュニティビジネス)
⑫ :能登でのドローン活用の可能性

© 2021 NPO ETIC.

# 実施例②：宮崎県日南市

共創ラボ公式フィールドワーク（ 2021.11.4-6 ）
・開催地域：宮崎県日南市
・コーディネーター：株式会社ことろど
・参加企業：7社8名
①1次産業：イチゴ農家、牡蠣の養殖、
若手ベンチャー農業家　等
②空き家問題、移住施策
③IT企業の誘致、サテライトオフィス
④商店街の再生
⑤城下町の再生、観光地としての活用
⑥道の駅の活用
→道の駅、城下町（飫肥）のワーキンググループに分かれ、課題の整理と自社リソースと掛け合わせた取組アイデアをまとめた

© 2021 NPO ETIC.

# ②セルフリサーチ＆プランニング支援

- 課題の深掘りや事業仮説を磨いていくための「セルフリサーチ」として、適宜パートナー地域への出張訪問が可能です。その際、地域課題やリソースに精通した地域コーディネーターへの相談・壁打ちディスカッションができます。

## サービス内容

1. オンラインで地域コーディネーターに相談可能！
2. 出張ベースで気軽にリサーチが可能！訪問先などもご紹介します！
   ※アポイントは原則ご自身でお取りいただきます。
3. 出張時に、地域コーディネーターに相談・壁打ちが可能！
4. 現地のコワーキングスペースの利用が可能！（利用料は適宜現地精算）
5. パートナー地域の各種データ（課題意識・キーパーソンリスト等）※2022年8月β版予定
6. オープン戦略会議への参加

## 使い方イメージ

**課題の深掘り**

空き家問題について、課題の再整理をしてみたので、この前の共創フィールドワークでお話した●●さんの意見を聞いてみたい！

**PoCの相談**

事業仮説について実証実験できる地域・パートナーを探したい！
※PoC実施は別途予算が必要です

**事業アイデアの壁打ち**

顧客と提供価値、そのサービススキーム案を考えたので、地域コーディネーターに壁打ちをして欲しい！

© 2021 NPO ETIC.

# オープン戦略会議とは？

- ローカルベンチャー協議会として、地域におけるインパクト創出に向けた探求・学び・種火づくりのきっかけとなる勉強会／意見交換会の場を開催します。
- 事業仮説の組み立てなど、案件のシナリオ・戦略づくりに繋がるものを企業や他地域と一緒に意見交換が可能な場です。

| 開催イメージ | テーマ案（現在企画調整中です） | 参加予定者 |
|---|---|---|
| 4月 | 建設会社とどう組むか？デジタル家づくりの活用について考えてみる | ● 共創ラボ参加者<br>● ローカルベンチャー協議会自治体<br>● ローカルベンチャー地域の事業者 など<br><br>※その他、招待者も単発参加が可能。 |
| 5月 | 移住者の住宅問題について<br>～空き家の改修をどう進めていくのか～ | |
| 6月 | 母子家庭支援、我が地域でなにができるか？<br>～千年建設 岡本さんが地域で仕掛けるコレクティブインパクト～ | |
| 7月 | コミュニティ財団を地域でつくるとしたら？<br>～おっちラボ小俣さん～　等 | |

© 2021 NPO ETIC.

# ③相互勉強会・相談会

- 地域課題起点での新規事業に取り組む他社事例から学ぶ「相互勉強会」や、先輩実践者との「メンタリング」機会を提供します（原則毎月開催、共創フィールドワーク実施月は開催しない）。

## 先輩実践者例

竹中工務店 岡晴信氏

まちづくり戦略室として、2019年4月より島根県雲南市と連携協定締結。同氏も4月から地域おこし企業人として、雲南市企画政策部に在籍出向。多数の企業と地域コーディネートを実践。

フェリシモ 三浦卓也氏

地域おこし企業人として北海道厚真町に在籍出向。その後、北海道胆振東部地震を受け、厚真町内にフェリシモの完全子会社CVC「Hope for」を設立。厚真町内外のローカルベンチャーへの事業投資を進めている。

セイノーホールディングス 加藤徳人氏

オープンイノベーション推進室長。運送拠点の空きスペースを活用した国内最大規模の野菜工場や、山梨県小菅村を皮切りとしたドローン物流の社会実装等を手掛ける。

ソーシャル・キャピタル共創機構
酒井可奈子氏

ハウス食品に在籍中、石川県七尾市のまちづくり会社に留職参加。その後プロボノとして5年以上関わるとともに、地域の食と健康をテーマにした事業を提案。その構想を持って2021年独立。

© 2021 NPO ETIC.

# オプション：ブラッシュアップ＆アウトプット機会

**机上のプランニングに留まらないための機会（打席に立つ機会）をオプションで提供します！**

## ブラッシュアップ機会
Beyondミーティング
https://bm.andbeyondcompany.com/

課題

- 社内に気軽にプランを発表する機会がない
- 社内に新しい挑戦を応援する風土がなく、部門間横断での関与もない

- 企画提案者によるピッチと全力応援ブレストを行う会議体
- and Beyond カンパニーにて毎月開催しており、社会課題基点の提案であれば、誰でも登壇可能(無料)
- ヤマハ発動機、JSTなどでの社内版Beyondミーティングの実績もあり(自社開催支援は別途要費用)

## 研修・人材育成の機会
Beyondワーク

課題

- 地域の課題解決へのリアリティをより高めたい、実践の中で自社としてできる可能性を探りたい

- 3ヶ月期間限定での兼業・副業・プロボノでのプロジェクト参画機会（地域課題・社会課題の現場でのプロジェクト等）

ROHTO　ABeam Consulting®

## アウトプット機会
新・夜市朝市
https://neoichiba.com/

課題

- 机上で考えるだけでなく、実際にテスト販売をするなど、リアルな顧客からのフィードバック機会が欲しい

- 主にtoC向けサービスについて、その開発の想いも伝えながら実験的に販売をするためのテスト販売マーケット、顧客は毎回50名程度参加
- 起業家に加え、ロート製薬社員も出店事例あり(要出展料)

# 提供価値・機会のまとめ

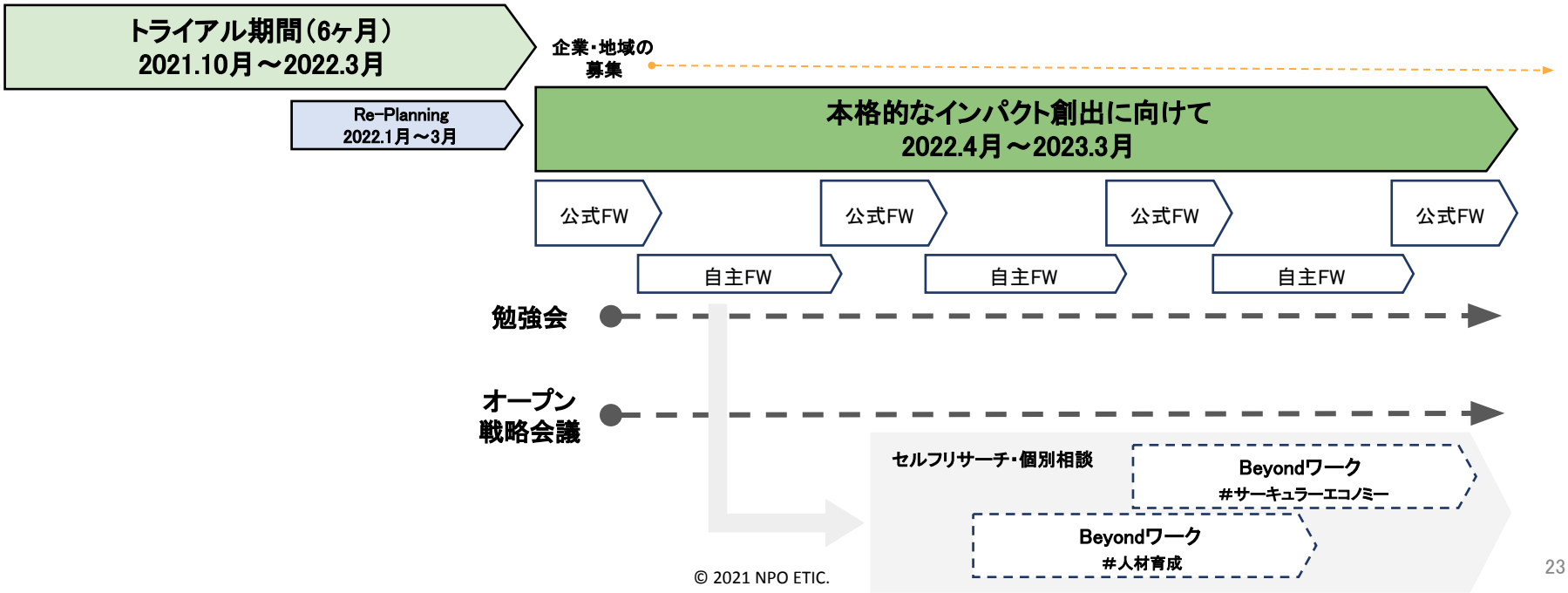
( )内はオプション機会

| | ニーズ | | 提供価値 | 提供機会 |
|---|---|---|---|---|
| 企業側 | 事業開発 | 探索ニーズ | 地域と雑談ベースで相談できる関係構築：第　1期は6～8地域程度 | ・共創フィールドワーク：<br>公式四半期1回+自主開催FWは随時実施<br>・地域コーディネーター付きセルフリサーチ<br>・オープン戦略会議 |
| | | 検証フィージビリティ | 機動力のある地域<br>テーマ領域の多様性 | ・地域コーディネーター付きセルフリサーチ |
| | 人材育成 | 新規事業担当者の意識啓蒙 | 地域で自ら切り拓いている起業家との出会い、他社新規事業担当者との交流機会 | ・共創フィールドワーク<br>・（Beyondワーク） |
| | | | （対外的なアウトプット機会） | ・（Beyondミーティング、新・夜市朝市） |
| | | 新規事業担当者のメンタリング | 企業目線を持ちながら地域の課題と企業の本業のベクトルをあわせられる実践者との出会い、妄想の機会 | ・相互勉強会＆公開相談会：毎月実施 |
| | | | （ブラッシュアップ機会 ） | ・（Beyondワーク）<br>・（個別コーチングサービス） |
| | | 社内管理職の意識啓蒙 | 地域で自ら切り拓いている起業家との出会い、他社新規事業担当者との交流機会 | ・共創フィールドワーク |
| 地域側 | 事業開発 | 地域にインパクトのある事業ネタや協業先を探したい | 地域と本気で協働・共創したい企業と出逢え、自地域に招待することが可能 | ・共創フィールドワーク／定例会／ Slackコミュニティ／他地域開催のフィールドワーク |

© 2021 NPO ETIC.

# 2022年度の方針・予定

- 2022年度は**20社20地域を目標**に、共に創りあげるパートナー地域・企業の募集を行います。
- 毎月の定例会・オープン戦略会議、そのほか地域で開催されるFWなどの場を開き**企業の皆さんとの対話機会を拡大します。**
- **地域間で共通する課題の見える化**(データセンター)に向けた開発投資を行います。




© 2021 NPO ETIC.

# 年間スケジュール案

| | 公式FW | 自主FW | 勉強会（月イチ定例） | オープン戦略会議 | Beyondワーク |
|---|---|---|---|---|---|
| 2022年3月 | | 自主企画@気仙沼市<br>自主企画@磐梯町 | | | |
| 4月 | | 自主企画@磐梯町 | 4/21(木)<br>2022年度キックオフ | オープン戦略会議 | |
| 5月 | **公式企画@西粟倉村** | | 定例会 | オープン戦略会議 | |
| 6月 | | 自主企画@ | 定例会 | オープン戦略会議 | |
| 7月 | | 自主企画@ | 定例会 | オープン戦略会議 | Beyondワーク |
| 8月 | **公式企画@雲南市 (予定)** | | 定例会 | オープン戦略会議 | |
| 9月 | | 自主企画@ | 定例会 | オープン戦略会議 | |
| 10月 | | 自主企画@ | 定例会 | オープン戦略会議 | |
| 11月 | **公式企画@厚真町 (予定)** | | 定例会 | オープン戦略会議 | |
| 12月 | | 自主企画@ | 定例会 | オープン戦略会議 | |
| 2023年1月 | | 自主企画@ | 定例会 | オープン戦略会議 | Beyondワーク |
| 2月 | **公式企画@？？？** | | 定例会 | オープン戦略会議 | |
| 3月 | | 自主企画@ | 定例会 | オープン戦略会議 | |

© 2021 NPO ETIC.

# 西粟倉FWのご案内

- 人口約1500人規模の岡山県西粟倉村は、14年の間に45の事業が生まれ、ローカルベンチャー文化の土壌が整っている先進地域です。
- 西粟倉むらまるごと研究所を地域コーディネーターとしてむかえ、持続可能なまちづくりに向けて林業や空き家・廃校活用など多様な切り口から現場をまわり、地域事業者との関係性構築や仮説づくりにむけたディスカッションを現地で行う予定です。

西粟倉むらまるごと研究所
LOCAL INVENTION LAB.

西粟倉むらまるごと研究所Facebookページより引用

© 2021 NPO ETIC.

# 第2期メンバー募集

# 参画メニュー

- 1クール半年間契約、継続する場合は半年単位で継続可能です。
- 法人契約の契約主体は自治体・地域団体を問わず。
  参画した地域関係者はどなたでも自由に参加・利用が可能です。

| 形態 | 価格(税別) | 含まれるもの | 謝金 |
|---|---|---|---|
| 個人メンバー<br>(ご担当者のみ) | 月額20,000円<br>半年～<br>(半年ごと更新) | **・共創ラボが提供する各種機会に参加可能。**<br>－共創ラボ定例会(月 1回)<br>－Slackコミュニティ<br>－ローカルベンチャー協議会オープン戦略会議(月　1回)<br>－他地域で実施されるフィールドワーク(随時開催) | |
| 法人(地域)メンバー | 月額100,000円<br>半年～<br>(半年ごと更新) | **・1年間で2回のフィールドワークを企画実施**<br>－1回目はETIC.スタッフと企業有志( 2名程度)でFSとして訪問<br>－1回目の訪問を経て、本格的なフィールドワークの企画～募集、実施<br><br>**・地域の関係者どなたでも 共創ラボが提供する各種機会に参加可能。**<br>－共創ラボ定例会(月 1回)<br>－Slackコミュニティ<br>－ローカルベンチャー協議会オープン戦略会議(月　1回)<br>－他地域で実施されるフィールドワーク(随時開催) | ●公式フィールドワーク時<br>参加企業人1名につき3万円お支払いいただき、総額の75%をFW開催地域にお支払いします。<br>(例:12名参加×3万円×75%＝270,000円)<br><br>●自主フィールドワーク<br>参加企業人1名につき2万円×人数×75%を、FW開催地域にお支払いします。<br>(例:4名参加×2万円×75%＝60,000円) |
| 法人メンバー<br>(企業版ふるさと納税活用型)<br>※詳細次頁参照 | 年間2,400,000円<br>(半年契約も可)<br><br>※税控除対象となり最大9割の控除となります(実質負担額年24万円) | | |



© 2021 NPO ETIC.

# 参加者の声

日本郵政　小林さん

共創ラボのフィールドワークを通じて2022年からは日本郵政社員を地域に送り込む事業を開始できました。社員が現地で心折れずにやれるかというのは地域の人との関係性がとても大事なので、地域のキーパーソンと出逢え、安心感をもって人を送り込めるのはありがたいです。また他企業さんの出会いを通じての気づきも多く、地域課題に対して妄想を通じて話ができるということで頭がクリアになりますね。

社内では新規事業開発の部署に所属しているので、新しいアイディアを生みだすためのテーマや課題を探せる場、実際の地域の人に「本当にニーズがあるのか？」をリサーチ的にヒアリングする場としても使っていきたいと思っています。

パーソルイノベーション
山口さん

丹青社
鎌田さん

2年前に地域創生を支援する部署に配属となりましたが、一過性の動きではなく、サーキュラーエコノミーや社会全体のエコシステムなど、会社としての在り方を探りながら、きちんとその地域の価値になって残ってくれるような事業ができたら嬉しいなと思い、共創ラボに参画しています。

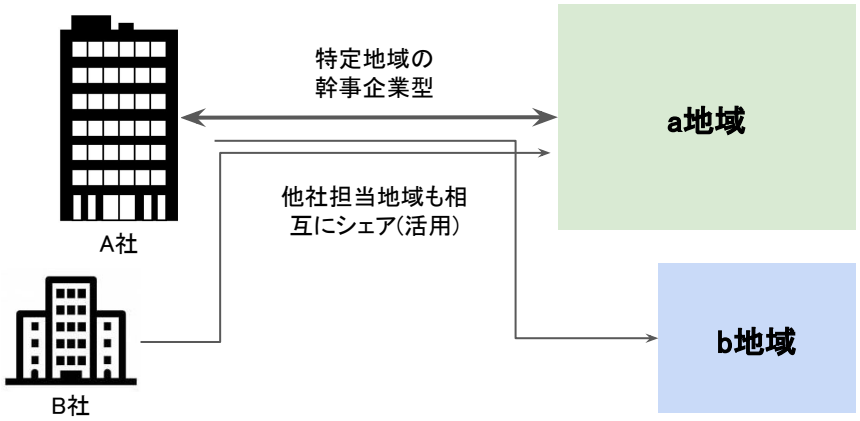
© 2021 NPO ETIC.

# ※参考：企業版ふるさと納税活用型

- 特定地域とセットで本プラットフォームに参画することが可能です。該当地域の幹事企業として、地域内のコーディネート体制に対する費用をご負担いただく形になります。
- その際に、地域側との連携のもと、企業版ふるさと納税を活用する形で、最大約9割の費用が税控除対象とすることが可能です（制度活用にあたっては事前にご相談ください）。

**地域側のコーディネート体制づくりにコミットしあう**

- 自社担当社員のアサイン(他社からの相談窓口)
- 企業版ふるさと納税等を活用し、地域側の受入れ体制への投資
- 他社にも機会を開くと同時に、他地域の機会も活用可能に



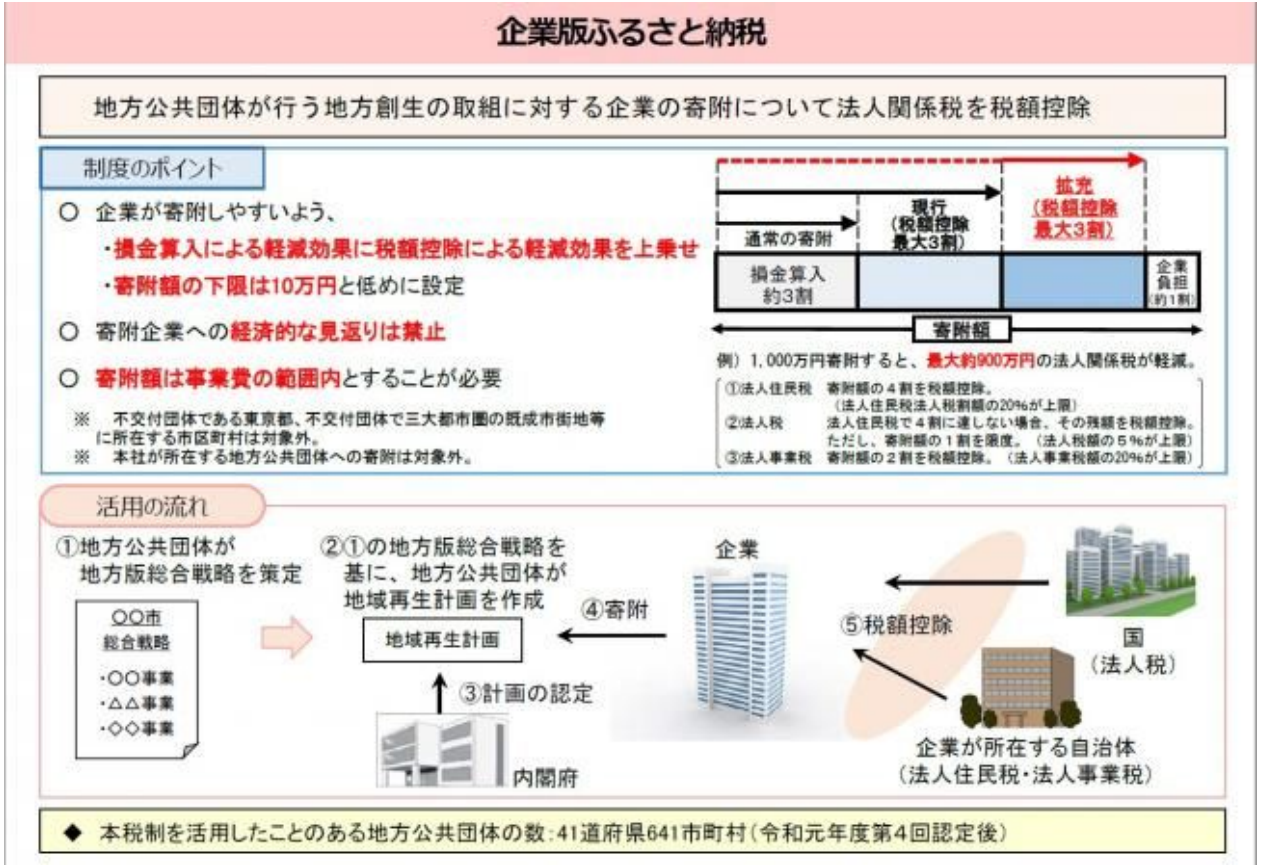

**地域内コーディネート体制**

- 地域キーパーソンの紹介
- 事業ネタへの壁打ち
- コワーキングスペース提供
- 公式共創型フィールドワーク企画実施(年1回)

企業版ふるさと納税　年間240万円～(約9割控除対象)

© 2021 NPO ETIC.

# ※参考：企業版ふるさと納税




総務省HPより資料引用

© 2021 NPO ETIC.

# ※参考：ローカルベンチャーラボ

- 地域の起業家や新たな起業家候補、都市部の企業人またフリーランス人材などが集い、少数精鋭のメンバーで自身の事業構想と関係性を磨いていく半年間のプログラム。
- 地域資源を活かすテーマを扱い、個別クリニックを実施。

OBOG活動地域
**41**都道府県　**103**市町村

**11**のテーマとその知見

第1−5期
**260**名のラボメンバー

全国に広がる
**274**件のローカルベンチャー

**44**名のメンター・ファシリテーター・特別講師陣

**10,000+**名の
FBフォロワー

# 共創ラボにおけるコロナウィルス対策について

## 1. 検温の実施、体調管理のお願い

1.1. フィールドワーク(FW)当日の朝、各自必ず検温を実施。
1.2. 当日FW先到着後（および宿泊行程を含む場合は毎朝）、会場にて抗原検査を実施。
これらにより、陽性反応が出た場合は、 FWには参加できません。
1.3. 政府等から示されている感染症についての相談・受診の目安等を踏まえ、次に該当する方は参加を見送る。
① 感染症に罹患し、治癒していない方
② 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、 37.5 度以上の発熱や咳等の風邪の症状のいずれかがある方
③ 感染症感染者（疑いのある場合も含む。）と接触があり、
医師又は保健所等の指示によりフィールドワーク初日時点で自宅待機となっている方

## 2. マスクの着用、アルコール消毒・手洗いの実施のお願い

2.1. フィールドワークへの参加中は、感染予防のため、マスクの着用徹底。
2.2. 訪問先でのアルコールによる手指消毒の徹底。

## 3. 受入地域における感染対策について

室内で実施するプログラムでは、定期的に換気を実施
現地での受入スタッフも検温等を行い、体調管理を徹底。

緊急事態宣言の発令や地域内での感染状況の拡大などによって速やかに FW開催可否を判断。

© 2021 NPO ETIC.